



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸イ言

人間としての基礎づくり 学校長

若葉も色を濃くし、初夏を感じさせる季節となりました。

4月の甲鶴戦、5月の実力考査・PTA総会も終わり、学校に活気がみなぎってきております。

5月の下旬から各種競技の全国大会の予選が始まります。生徒たちは、それぞれの目標に向けて、日々頑張っております。

3年生にとつては集大成の大会となりますし、1・2年生にとつても、次につなげる学びの場となることでしょう。何はともあれ、この高校時代に何か一つの事に打ちこむことは非常に意義あることと考えます。

私は、この一年の教育方針に、①命を守る、②心を育てる、③学力を創る、④体力を付ける、⑤気力を産み出す、⑥職業を意識させる、⑦腰と肚を鍛える、⑧徳を積ませる、を掲げました。将来、世界の各地で、人の上に立つであろう鶴丸の生徒に、社会に貢献できる人間に育って欲しいと思っているからです。そのためには、降りかかるであろ

う多くの困難に打ち勝てるだけの肚の座った人間をつくる必要があると考えています。要は職員・生徒が、この事を意識する事から始まるのです。

甲鶴戦

通算成績
鶴丸16勝
甲南14勝



第三十五回の甲南・鶴丸スポーツ交歓会は四月二十一日、鴨池総合運動公園を舞台に開催された。昨年の十二月より両校生徒

会執行部は打ち合わせを重ね、周到な準備を行った。大会当日は素晴らしい晴天に恵まれ、爽やかな初夏の風の中で開会式が始まった。学校長、生徒会長の挨拶に続き、大会歌斉唱、両校ソフトテニス部による選手宣誓があり、最後は両校応援団の力強い美しい演舞が行われ、大会のムードは一気に高まった。開会式の後には各会場に分かれて全十五種目十八競技で熱戦が始まった。



に沸き立った。新一年生は甲鶴戦を経て真の鶴丸生になるとよく言われる。第二の入学式にふさわしい活気溢れる一日であった。

各部活動の顧問を中心に戦前の予想を尋ねると、皆が口を揃えて鶴丸の勝利は厳しいと答えていた。しかし、ふたを開けてみると、どの競技でも鶴丸の予想以上の健闘が目立ち、劣勢を伝えられた優勝争いは最終種目の野球を前にして両校が全くの同点で並ぶという展開になった。両校の全生徒、職員が見守る中、野球は終始鶴丸のリードで進行した。後半追加点をあげた鶴丸が甲南を8対2で下し、この瞬間に総合成績でも鶴丸の二連覇が決まった。閉会式では各競技の勝敗が一つ一つ紹介され、その度毎に両校の応援席から歓声が上がった。そしていよいよ総合成績の発表。「8対9で鶴丸の勝ち」勝利を告げるアナウンスが競技場に響き渡った瞬間、鶴丸の応援席は歓喜

生徒総会・生徒会長選挙

平成十七年度生徒総会、ならびに生徒会長立会演説会が四月二十五日に行われた。生徒総会では、一年間の活動報告、決算報告が行われ、次いで今年度の活動計画、予算案が提示され、承認された。更に、特別議題として鶴丸生の服装が取り上げられた。事前に行ったアンケート調査を踏まえて活発な討議が行われた。また、立会演説会を受け、翌日に行われた生徒会長選挙では、二年生の瀬戸山潤君が当選し、新しい執行部が発足した。

PTA総会

五月十二日総会が開かれ、前年度会務報告、今年度予算案、業務計画新役員選出などについての審議が行われ承認された。

- 会長 幾留 秀一
- 副会長 赤崎 安隆・飯尾加恵子
- 監事 下西 恵・吉見 桃子

教科書係より(連絡)

教科書展示会の御案内
六月十四日から十四日間
鹿児島市教育総合センター
鹿児島県総合教育センター
鹿児島県各地(十数カ所)で見本が展示されます。

6月の行事予定

6月		教育実習	
1	水		
2	木		
3	金	中間考査 時間割発表	
4	土		
5	日		
6	月	金曜日の授業③ 集団読書(1年, 7限目)	
7	火		
8	水		
9	木		
10	金	中間考査(1日目) 学校安全の日 中掃除	
11	土		
12	日		
13	月	中間考査(2日目)	
14	火	中間考査(3日目) 中高連絡会	
15	水	金曜日の授業④	
16	木	クラスマッチ(午後) (1~4限)	
17	金	クラスマッチ(終日)	
18	土		
19	日		
20	月	学年朝会	宅
21	火		習
22	水		時
23	木		定
24	金	中掃除 初任研会場校	期
25	土		調
26	日		査
27	月	全校朝会	教
28	火		育
29	水		相
30	木	実力考査 時間割発表	談

- ・下宿指導
- ・通学マナー指導
- ・水質検査
- ・保健講話
- ・水泳実習前健康診断